

# 区市町村の特定健康診査・特定保健指導の好事例

## ■ 特定健診の周知・受診勧奨の工夫

### <対象者>

- 受診券送付後、1か月経過した後、全員に受診勧奨のハガキを送付し、その後受診なしの人にはセグメント（年代等）別にハガキ送付
- 小中学校の児童・生徒に保護者向けのチラシを配布（受診率の低い40～50代をターゲットとしている）

### <内容>

- 健診勧奨はがきに二次元コードを掲載して健康診査や人間ドック受診費助成の案内ページへ誘導
- 過去5年分の健診結果をグラフ化した通知を送付
- 対象者の過去の受診状況等によって勧奨内容を工夫（前年度未受診者には健診が短時間であることや費用面を周知、受診者には毎年受診することで生活習慣病リスクが低減することを周知）
- 受診勧奨通知でアンケートを実施し、翌年度以降、認知度が低い内容の周知強化

### <方法>

- 健診勧奨通知を「圧着はがき」（開封意欲を喚起）にして、新規対象者や継続未受診者等に対して送付
- 区HP・広報誌などのほか、医療機関やスポーツジム、町内会掲示板等にも掲示
- 若年層の受診率向上のため、SNSによる周知
- ケーブルテレビCMやSMSの活用

### <その他>

- 商工会議所や企業に対して健康診査結果提出依頼
- 受診勧奨通知に人間ドック等の結果提供依頼文を掲載

# 区市町村の特定健康診査・特定保健指導の好事例

## ■特定健診の実施方法の工夫

- 未受診者専用、土日の集団健診を実施
- 近隣区の医師会と契約（相互乗り入れ）
- 医療機関に通院している人への健診案内チラシを作成し、医療機関で渡してもらうようにしている

## ■コロナ禍における特定健診実施率向上対策

- 受診環境の整備
  - ・実施期間の延長等による受診機会の確保
- 受診勧奨の工夫・強化
  - ・特定健診の案内や受診勧奨時に、実施機関において感染症対策が行われていることを記載し、周知
  - ・SNSによる受診勧奨にあたっては、ナッジ理論を活用し、コロナ禍での運動不足や受診控えに関する注意喚起
  - ・感染症重症化リスクの観点からも健診受診・生活習慣予防が重要であることを勧奨通知等に記載
- 広報誌やホームページによる広報
  - ・HP、SNS、広報誌などで実施機関における感染症対策について周知
  - ・実施時期や方法の変更、定期的な受診の重要性についてHPなどで強調
  - ・HPや広報用のLINEでこまめに実施状況等の情報発信
  - ・厚労省作成のチラシを自治体の施設に配布・掲示

# 区市町村の特定健康診査・特定保健指導の好事例

## ■特定保健指導の周知・実施方法の工夫

### <利用勧奨内容>

- 特定保健指導の案内文を、積極的支援の場合は「生活改善が今すぐ必要」と動機付け支援の場合と比べて切迫感ある文言を記載する等工夫
- 利用券と一緒に、それぞれの対象者の健診結果を踏まえて留意すべき点等を保健師が手書きで記載した手紙を送付

### <利用勧奨方法>

- 受診案内送付後に電話勧奨や未利用者への再勧奨通知を実施
- 医師からの勧奨を実施（健診結果返却時等）

### <保健指導方法>

- 健診当日に、特定保健指導の初回面談を実施（健康意識が高まっているうちに実施）
- ICTによるオンライン遠隔面接の実施
- 「特定保健指導」という名称ではなく、より参加しやすい事業名に変更
- 血管年齢等の測定会の場において、対象者に特定保健指導を実施
- 特定保健指導の初回面談と同時に健康増進教室（体操教室等）の実施